

認定調査で聞き取る項目

1 基本的な動作や起居に関する能力	2 生活維持に必要な機能	3 認知機能の程度
1-1 麻痺等（左・右上肢、左・右下肢、その他）	2-1 移乗	3-1 意思の伝達
1-2 拘縮（肩関節、股関節、膝関節、その他）	2-2 移動	3-2 毎日の日課を理解
1-3 寝返り	2-3 えん下	3-3 生年月日を言う
1-4 起き上がり	2-4 食事摂取	3-4 短期記憶
1-5 座位保持	2-5 排尿	3-5 自分の名前を言う
1-6 両足での立位	2-6 排便	3-6 今の季節を理解
1-7 歩行	2-7 口腔清潔	3-7 場所の理解
1-8 立ち上がり	2-8 洗顔	3-8 徘徊
1-9 片足での立位	2-9 整髪	3-9 外出して戻れない
1-10 洗身	2-10 上衣の着脱	
1-11 つめ切り	2-11 スボン等の着脱	
1-12 視力	2-12 外出頻度	
1-13 聴力		

4 認知症などによる行動障害の有無と程度	5 社会生活を維持するために必要な能力と介助の状況
4-1 物を盗られたなどと被害的になる	5-1 薬の内服
4-2 作話	5-2 金銭の管理
4-3 泣いたり、笑ったりして感情が不安定になる	5-3 日常の意思決定
4-4 昼夜の逆転がある	5-4 集団への不適合
4-5 しつこく同じ話をする	5-5 買い物
4-6 大声をだす	5-6 簡単な調理
4-7 介護に抵抗する	6 その他
4-8 「家に帰る」等と言い落ち着きがない	特別な医療について（12種類）
4-9 一人で外に出たがり目が離せない	
4-10 いろいろな物を集めたり、無断でもってくる	
4-11 物を壊したり、衣類を破いたりする	
4-12 ひどい物忘れ	
4-13 意味もなく独り言や独り笑いをする	
4-14 自分勝手に行動する	
4-15 話がまとまらず、会話にならない	

これらの項目以外でも、日ごろの生活でお困りのことがあれば、訪問調査員にお伝えください。



☆認定調査を受けるときのポイント

●体調のよいとき（通常時）に調査を

いつもと違う体調のときでは正しい調査ができないことがあります。

●困っていることはメモしておく

緊張などから状況が伝えきれないことも。困りごとはメモしておくで安心です。

●家族などに同席してもらおう

家族などいつもの介護者に同席してもらえば、より正確な調査ができます。

●日常の補装具があれば伝える

つえなど日常的に使っている補装具がある場合は、使用状態を伝えましょう。